



三次建建発第1号

平成19年5月1日

国土交通省道路局長 様

三次市長 吉岡 広小路

(あんしん建設室)



中期的な計画の作成にあたっての意見について(回答)

平成19年4月2日付け、国道企第114号で依頼のこのことについて、別紙のとおり回答します。

「担当 幹線道路対策チーム

電話 0824-62-6305 (内線 2325)

(担当者 安井正則)

」

今後の道路政策や道路整備・管理についての意見

- 1 国際競争が激化するなか、国内経済に活力を与える基盤整備は急務である。とりわけ道路は、市民生活や経済・社会活動を支える最も根幹的な社会基盤であり、極めて重要な役割を担っている。地方の各都市・地域がそれぞれの特色を活かした発展のためには、ネットワークが繋がっていない高速道路網の整備を進める必要がある。

中国地方の産業・経済の発展のためにも、中国横断自動車道尾道松江線や地域高規格道路江府三次道路などの早期完成を望む。
- 2 少子高齢化や人口減少により、地方は深刻な状況にある。また、公共交通機関が充足していない地方において自動車は、地域社会を支える重要な交通手段であり、通勤・通院など日常生活を支える生活幹線道路の整備が必要である。

三次市や周辺の道路整備はまだまだ遅れており、広島県北部や島根県南部の経済圏と三次市街地へのアクセス向上に一層の整備を切望する。
- 3 近年、各地で多発する地震や集中豪雨、豪雪などの災害へ備えた、安全・安心で災害に強いまちづくりが望まれている。災害に備えた防災工事や危険を回避する道路網の整備も必要である。三次市は多数の河川があり梅雨時期の集中豪雨や、冬季の豪雪も懸念される。災害時に孤立集落をつくらぬような道路整備も必要である。
- 4 今後の道路政策の効率的な取り組みとして、高速道路料金の引き下げと、ETC 専用のインターチェンジの増設を希望する。これにより、経済活動がより活発となり地域の発展も期待できる。
- 5 道路整備について、最少の投資額で最大の効果をあげるため、地域密着型の県道の権限移譲を進め、各地域のまちづくりに必要な道路整備が効率的に行われるよう進める必要がある。
- 6 現在、地方の道路整備はまだまだ遅れており、必要な整備水準までにはまだ隔たりが大きい。道路特定財源については、地域バランスを考慮し早期に必要な整備が進むよう取り組むべきである。